

p-CHECK・LH Clearly Q&A

Q1 避妊目的には使用してはいけませんか？

本品は、妊娠の成立のために排卵日の予測の補助を行う検査薬であり、避妊目的に設計されていません。LHサージから通常排卵がおきるとされる約40時間を大幅に超えて排卵がおきることがあること、精子は体内で3日以上生存する可能性があること、検査薬がLHサージをとらえる前に排卵がおきることがあること、検査結果が陰性であっても、体内では卵子が生きている可能性もあることから、確実に避妊できるものではありません。

Q2 生理(月経)周期が不規則で、5、6日ずれることもあるのですが、検査はいつ始めるのがいいですか？

生理(月経)周期が不規則な場合は、最近の2～3周期の中で一番短かった周期を目安にして次回生理(月経)開始予定日を決めてください。
なお、生理(月経)周期が非常に不規則な場合は、重要な疾患が潜んでいる可能性も考えられるため、なるべく早く医師に相談してください。

Q3 計算に従って決めた検査開始日を今月は過ぎていましたが、いつから始めたらいいですか？

検査開始日をすでに過ぎていた場合は、次回の周期にあらためて検査開始日を決めて検査してください。

Q4 検査を始めて2日が経過し、陰性が続いていましたが、3日目の検査を行うことを忘れてしまいました。4日目から再開した方がいいですか？

4日目に検査をして陰性であったとしても、3日目に陽性であった可能性があり、排卵日を正確に予測できないおそれがあるため、次回の周期にあらためて検査開始日を決めて検査してください。

Q5 1日1回と2回のどちらがいいですか？

本品はLHサージをとらえることで、排卵日を事前に予測するものです。LHサージは短時間に急激におこりますので、1日2回検査を行っていただくと、よりLHサージがとらえやすくなります。

Q6 飲酒、喫煙、かぜ薬等の服用は判定に影響しますか？

影響しません。ただし、不妊治療のために投与されている薬剤の中には判定に影響するものもありますので、医師にご相談ください。

Q7 6周期検査し、性交を持ったのに妊娠しないのですが？

妊娠しにくい原因は排卵に関する問題だけではありません。また、生理(月経)が順調だから問題がないということでもありません。妊娠しにくい原因は様々ありますが、女性側の原因の多くは治療が可能です。自分一人で悩まず医師にご相談ください。この検査の結果や基礎体温を測定した結果があれば診断に役立つでしょう。できればパートナーと一緒に相談に行かれることをお勧めします。

Q8 排卵日を知る手がかりである基礎体温と排卵日予測検査薬のちがいは？

排卵がある周期の場合、基礎体温は低温相と高温相の二相があり、低温相から高温相に変化した頃に排卵があったことが推定できます。多くの場合、体温が上がってから排卵があったことが分かるので、基礎体温法では前もって予測することは難しいといわれています。
一方、尿中の黄体形成ホルモン(LH)濃度の上昇が始まってから約40時間以内に排卵がおこることが知られており、排卵日予測検査薬でLHの分泌量の変化を調べることで約1日前に排卵日の予測の補助を行うことができます。
排卵日予測検査薬は補助的に排卵を事前に予測し、基礎体温は排卵を後で確認できますので、特に生理(月経)の不規則な方は基礎体温と排卵日予測検査薬を併せて使うことをお勧めします。

Q9 最も妊娠しやすい時期はいつですか？

初めて陽性になった時から約40時間以内に排卵がおこる可能性が高いと予測され、その時期が最も妊娠しやすい時期といえます。

Q10 尿をかけた後でも基準部にも何もラインが出ないのですが？

尿量不足等の操作ミスが考えられます。検査のしかたをよく読み直してから、再度、検査をやり直してください。

この製品についてのお問い合わせは

(株)ミズホメディー【お客様相談室】

0120-85-0323

受付:月～金(祝日を除く) 9:00～12:00 13:00～17:00



製造販売元

株式会社 ミズホメディー

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4

排卵日予測検査薬 一般用黄体形成ホルモンキット

p-CHECK・LH Clearly

P-チェック・LHクリアー

薬局・販売店様用解説書



製品概要

反応系に關与する成分(1テストあたり)

・ハプテン結合マウスモノクローナル抗LH抗体	57ng
・マウスモノクローナル抗LH抗体結合金コロイド	3.6μg
・ヤギポリクローナル抗ウサギ免疫グロブリン抗体	0.4μg
・ウサギ免疫グロブリン結合金コロイド	0.16μg

使用目的

・尿中の黄体形成ホルモン(LH)の検出(排卵日予測の補助)

- 排卵日がわかるしくみ(測定原理)
- 検査のタイミング
- 使用上の注意
- 検査のしかた
- 判定のしかた

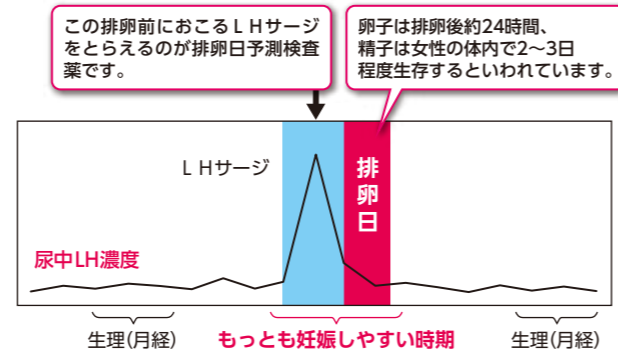
添付文書をよく読んでご使用いただくよう、ご指導ください。

排卵日がわかるしくみ(測定原理)

黄体形成ホルモン(LH)は、普段から少量分泌されているホルモンですが、卵子が成熟した頃、大量分泌がはじまり(LHサージ)、それが引き金となってLHサージの約40時間以内に排卵がおきるといわれています。

「P-チェック・LH クリアー」は、このLHを検出し、LHサージをとらえるための検査薬です。

排卵を予測するための方法の一つとして基礎体温が知られていますが、基礎体温と併せて検査を行うと、より排卵日の予測の補助として有用です。



検査のタイミング

① 次回生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始してください。

② 検査開始日から、1日1回、毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。
(過去に検査をしてLHサージがうまく確認できなかった場合や、今回検査をしたところ陽性が陰性かの判定に迷う場合などには、1日2回検査を行うことで、よりLHサージをとらえやすくなります。)

検査時期に関する注意

- ・1日1回検査をする場合：毎日ほぼ同じ時間帯に検査してください。
 - ・1日2回検査をする場合：例えば朝夕など毎日ほぼ同じ時間帯に検査してください。
- ※生理(月経)周期が不規則な場合は、最近の2~3周期のうち、一番短かった生理(周期)をもとに、検査を開始してください。

次回生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始します

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
17日前	16日前	15日前	14日前	13日前	12日前	11日前
15	16	17	18	19	20	21
10日前	9日前	8日前	7日前	6日前	5日前	4日前
22	23	24	25	26	27	28
3日前	2日前	1日前				
29	30					

次回生理(月経)開始予定日

使用上の注意

してはいけないこと

本品は、避妊目的に設計されており、検査結果が陰性であっても確実に避妊できるものではないので、避妊の目的で用いてはいけません。(本品は、排卵日予測の補助を目的とした検査薬であり、避妊目的には使用できません。性能上確実に排卵日を特定できるわけではありません。避妊法(経口避妊薬の服用等)を行っている人は検査を行わないでください。)

解説 本品は妊娠の成立のために排卵日の予測の補助を行う検査薬であり、避妊目的に設計されていません。LHサージから通常排卵がおきると言われる40時間を大幅に超えて排卵がおきることがあること、精子は体内で3日以上生存する可能性があること、検査薬がLHサージをとらえる前に排卵がおきることがあること、検査結果が陰性であっても、体内では卵子が生存している可能性もあることから、確実に避妊できるものではありません。

相談すること

① 次の人は、使用前に医師に相談すること。

- 不妊治療を受けている人
- 通常の性交を継続的に行っても1年以上妊娠しない人
- 生理(月経)周期が極端に不順又は経血量が異常など月経異常がある人

解説 不妊治療には、ヒト絨毛性腺刺激ホルモン(hCG)製剤等のホルモン療法など、医師から何らかの薬剤投与又は処置を受けている可能性があり、それが本品の検査結果に影響を与える可能性があります。また1年以上妊娠しない人や、生理(月経)が極端に不規則な人、生理(月経)の周期が延長して生理(月経)回数が極端に少ない人は、黄体など何らかの機能不全の可能性があり得ます。

② 検査期間中、陰性が続きLHサージが確認できない場合は、早期に医師又は薬剤師に相談すること。

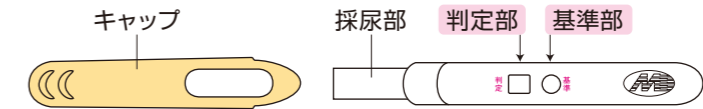
解説 尿中の黄体形成ホルモン(LH)濃度には個人差や周期差がありますので、LHサージが確認できないことだけで、何らかの疾患が関与しているとはいきませんが、陰性が続いてLHサージが確認できない場合は、月経異常などの可能性もあることから、医師への受診勧奨が行えるよう、相談事項としました。

③ この説明書の記載内容で分かりにくいところがある場合は、医師又は薬剤師に相談すること。

解説 本品について、きっちり理解していただいた上でご使用いただけるよう、相談事項としました。

検査のしかた

テストスティック各部名称

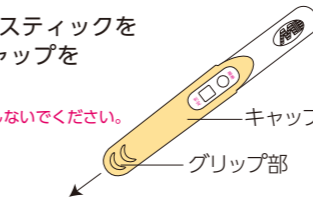


●検査の手順

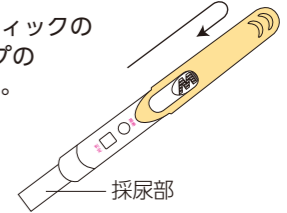
1 準備

① アルミ袋からテストスティックを取り出し、先端のキャップをはずします。

※アルミ袋は使用直前まで開封しないでください。



② キャップをテストスティックの反対側にはめ、キャップのグリップ部を持ちます。



2

A 採尿部を下に向けて、直接尿をかけます。尿は採尿部全体にかかるように5秒以上かけてください。

A 尿をかける または B 尿につける

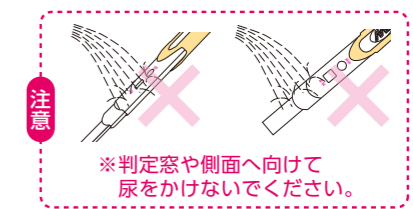
B または、乾いた清潔な紙コップ等に尿を採り、採尿部全体がつかないように10秒間尿につけてください。



5秒以上

※正面から採尿部に尿をかけてください。

※尿を40秒かけても問題がないことを確認しています。



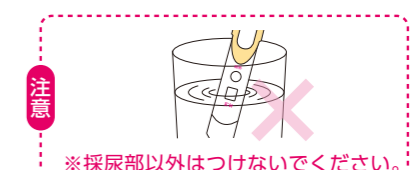
注意

※判定窓や側面へ尿をかけないでください。



10秒間

※採尿部のみをつけてください。



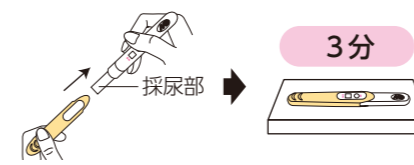
注意

※採尿部以外につけないでください。

3

採尿部を下に向けたままキャップをかぶせ、平らな場所に置き、3分待ってください。

3 静置



3分

※テストスティックの採尿部は水平より上に向けしないでください。

注意

判定のしかた

尿をかけた、または尿につけた検査薬を3分経過したのち、速やかに判定してください。

初めて陽性になったときが、LHサージが検出されたということであり、間もなく排卵が起こるといえるのです。

陽性

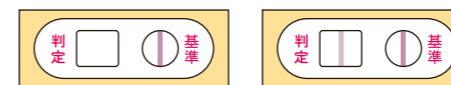
判定ラインの濃さが基準ラインと同等以上の場合



LHサージが検出されました。間もなく排卵がおけると予測されます。初めて陽性になった日かその翌日が最も妊娠しやすい時期(排卵日)です。

陰性

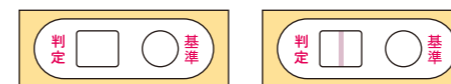
判定ラインが認められないか、判定ラインの濃さが基準ラインよりも薄い場合



LHサージが検出されませんでした。翌日以降もほぼ同じ時間帯に陽性になるまで検査を続けてください。

再検査

基準ラインが認められない場合



基準ラインが出ていない場合は尿量不足等の操作上のミスが考えられます。再度、新しい検査薬で検査を行ってください。